

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 761 号
2024年11月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

アスカ・セミナーは第59回を迎え、10月11日（金）昨年に続き、西尾駅前の西尾コンベンションホールに於いて盛大に開催されました。

天野卓社長の歓迎の挨拶に始まり、大ホールAにて鈴木伸幸氏の講演の後、隣室大ホールBに場所を移して大懇親会は催されました。

第 59 回アスカセミナー

物流の2024年問題の背景と展開



講師 一般社団法人愛知県トラック協会
適正化事業部 適正化事業課

課長 鈴木伸幸氏

2024年問題とは

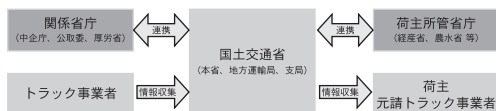
働き方改革関連法により、2024年4月から物流業界に生じる様々な問題であり、主に「自動車運転業務」の時間外労働が年960時間と上限規制されることに起因します。

つまり、物流の労働に関するルールが厳格化され、ドライバー1人当たりの走行距離が短くなり長距離で物が運べなくなると懸念されます。

さらに運送業界の売り上げ減少、ドライバーの収入減少等の問題が起きると危惧されています。

トラックGメンによる監視体制

荷主対策の深度比として「働きかけ」「要請」等による是正措置が講じられたものの、2024年問題に対応するためにはさらなる強力な対策が必要であるため新たに「トラックGメン」を設置することで監視体制を強化及び確実なものとなりました。



【主な違反原因】

・長時間の荷待ち（53%）

- ・契約にない附帯業務（16%）
- ・運賃や料金の不当な据え置き（13%）
- ・無理な運送依頼・過積載運送の指示（14%）
- ・異常気象時の運送依頼（4%）

2024年問題による影響と対策

2024年問題に対して何も対策しなければ運送力が2024年度には14%、2030年度には34%不足し、運搬に支障をきたすと推測できます。このため我が国では①物流の効率化、②荷主・消費者の行動変容、③商慣行の見直しについて「物流革新に向けた政策パッケージ」として取りまとめました。

また、令和5年10月には「物流革新に向けた政策パッケージ」の内容で緊急的に取り組むべき対策を「物流革新緊急パッケージ」として取りまとめました。

(1) 物流の効率化

- ・即効性のある設備投資
- ・モーダルシフトの推進
- ・トラック運転手の労働負担の軽減、担い手の多様化の推進
- ・物流拠点の機能強化や物流ネットワークの形成支援
- ・標準仕様のパレット導入や、物流データの標準

化・連携の促進

- ・燃油価格の高騰等を踏まえた物流のGXの推進
- ・高速道路料金の大口・多頻度割引の拡充措置の継続
- ・道路情報の電子化の推進による特需車両通行制度の利便性向上

(2) 荷主・消費者の行動変容

- ・宅配の再配達率を半減する緊急的な取り組み
- ・政府広報やメディアを通じた意識改革・行動変容の促進を強化

(3) 商慣行の見直し

- ・トラックGメンによる荷主・元請事業者の監視体制の強化
- ・現下の物流動向の反映や荷待ち・荷役の対価等の加算による標準的な運賃の引き上げ
- ・適正な運賃の收受、賃上げ等に向け、次期通常国会での法制化を推進

標準的な運賃等の見直しのポイント

検討会での議論を踏まえて①荷主等への適正な転嫁、②多重下請け構造の是正等、③多様な運賃・料金設定等の見直し方針を公表、告示。

(1) 荷主等への適正な転嫁

〈運賃水準の引き上げ幅を提示〉

- ・運賃表を改定し、平均や約8%の運賃引き上げ
- ・運賃表の算定根拠となる原価のうち燃料費を120円に変更し、燃料サーチャージも120円を基準価格に設定

〈荷待ち・荷役等の対価について標準的な水準を提示〉

- ・現行の待機時間料に加え、公共工事設計労務単価

表を参考に、荷役作業ごとの積載料・取卸料を加算

待機時間料	1,760円
積込量・取卸料	
機械荷役の場合	2,180円
手荷役の場合	2,100円

- ・荷待ち・荷役の時間が合計2時間を超えた場合は、割増率5割を加算

- ・標準運送約款において、運送と運送以外の業務を別の章に分離し、荷主から対価を收受する旨を明記

- ・有料道路利用料を個別に明記するとともに、運送申込書/引受書の雛形にも明記

(2) 多重下請け構造の是正等

〈下請け手数料の設定等〉

- ・下請け手数料を設定
- ・元請運送事業者は、実運送事業者の商号・名称等を荷主に通知することを明記

〈契約条件の明確化〉

- ・荷主、運送事業者は、それぞれの運賃・料金等を記載した電子書面を交付することを明記

(3) 多様な運賃・料金設定等

〈個建運賃の設定等〉

- ・共同輸配送等を念頭に個建運賃を設定
- ・リードタイムが短い運送の際の速達割り増しや有料道路を利用しないことによるドライバーの運転長時間化を考慮した割り増しを設定

〈その他〉

- ・現行の冷蔵・冷凍車に加え、海上コンテナ輸送車、ダンプ車等5車種の特種車両割り増しを追加



社長あいさつ



鈴木セミナー

- ・中止手数料の請求開始可能時期、金額を見直し
- ・運賃・料金等の店頭掲示事項について、インターネットによる公表を可能とする

改善基準告示新旧対照表

	旧	新(R6.4月1日より)
1年の拘束時間	3,516時間	原則：3,300時間
1か月の拘束時間	原則： 293時間	原則：284時間
	最大： 320時間	最大：310時間
1日の拘束時間	原則： 13時間	原則：13時間
	最大： 16時間	最大：15時間
1日の休息時間	継続8時間	継続11時間を基本とし、9時間下限

例外的な取り扱いについて

「予測し得ない事象に遭遇した場合」

事故、故障、災害等通常予期しない得ない事象に遭

遇し、一定の遅延が生じた場合は、客観的な記録が認められる場合に限り、1日の拘束時間、運転時間、連続運転時間を規制の摘要に当たっては、その対応に要した時間を除くことができます。

しかし、1か月の拘束時間改善基準告示のほかの規定の適応にあたっては、予期し得ない事象の対応時間を除くことはできません。

言い換えれば、1か月や1年の拘束時間は予期し得ない事象の対応時間も含めて上限内におさめる必要があります。

我々ができる対策等

まず1つ目は、荷待ち時間の短縮であり、適切な貨物の受け取り・引き渡し日時の指示予約システムなどの導入等をする。

2つ目は、荷役時間の短縮であり、パラ積み・バラ降ろしによる非効率な荷役作業ではなく、パレット等の活用をし、荷役時間を短縮する。

3つ目は、積載率の向上をする。余裕を持ったリードタイムを設定したり、同じ運送先の荷物を集約したり効率よく運送できるようにする。

他にも、有料道路を利用しないことによるドライバーの運転長時間化を考慮した割り増しや、リードタイムが短い運送の際は「速達割増」したり、逆に短い場合の割引などをしたりし多様な運賃・料金設定等を見直す必要があります。

まだ他にも対策できることはあるが、1つずつ見直していき実行していくことが重要だと考えます。

(文責：永井翔大)

懇親会

ホールBでの懇親会は、鈴木孝敏営業部長の開会の挨拶に続き、セミナーでご講演いただいた、鈴木伸幸講師の乾杯で開催されました。

数年、コロナ禍で自重していた懇談会は、自由に各テーブルを行き来して、どのテーブルも秋の夜の歓談に花が咲きました。

最後に、一般社団法人日本ダイカスト協会副会長の中根由雄氏（アツタ起業株式会社社長）の中締めのご挨拶で、名残惜しみながら散会しました。



中締あいさつ

社内勉強会

生産部の健康診断日に合わせて、10月18日（金）に社内勉強会を開きました。

まず、永田康彦課長を講師として、インゴットのバリ発生を抑える出湯方法、温度調整など溶解・铸塊技術の基本を復習しました。

その後は各班に分かれ、班長を中心にして、今後のDX化について、身近な問題点や改善点などを出し合いました。

簡易的なものや大規模なもの等、様々な意見が出されました。今後も継続して行う方向です。



社内情報

- ◎秋の恒例行事アスカ・セミナーは今年も盛大に開催できました。講師の鈴木様ありがとうございました。
- ◎翌日開催の第33回アスカ杯ゴルフコンペの結果は
優勝 辻 禎広氏（阪和興業）
準優勝 森川冬樹氏（佐藤商事）
第3位 岡田正直（アスカ工業）
BB賞 高野 航氏（豊通マテリアル）
- ◎皆様おめでとうございました。

編集後記

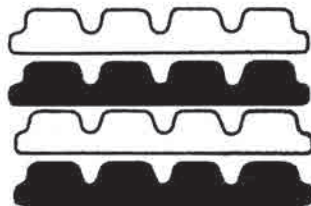
- 今年のノーベル平和賞は日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が受賞しました。日本政府のコメントは「極めて意義深い」でした。
- 立憲民主党の代表には野田佳彦氏が選出されました。
- 自由民主党の総裁には石破茂氏が選出され、首相指名と同時に総選挙。自公過半数維持をめざす大事な選挙だが、注目度はMLBWシリーズの方が上か。
- 11月はハリス対トランプの米国大統領選挙。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>